

**令和2年**

**東松島市教育委員会第8回定例会会議録**

**東松島市教育委員会**

## 東松島市教育委員会第8回定例会会議録

- 1 招集日時 令和2年8月19日(水) 午後1時15分
- 2 招集場所 東松島市役所 3階 第3委員会室
- 3 出席委員 教育長 志小田 美弘 委員 木村 和彦 委員 福田 ゆかり  
委員 鹿野 あい子 委員 松岡 勝久
- 4 傍聴者 なし
- 5 説明のため出席した者 教育部長 小山 哲哉  
学校教育管理監 相沢 進  
教育総務課長 八木 繁一  
生涯学習課長 柏木 淳一  
教育総務課長補佐 高野 裕行
- 6 本委員会書記 教育総務課 教育総務係長 木村 薫
- 7 開会 午後1時15分

### 8 出席確認

教育長 皆さまこんにちは。それでは出席の確認ですが、本日は委員全員の出席をいただいております。会議定足数に達しております。

### 9 開会挨拶

教育長 ただいまから「令和2年東松島市教育委員会第8回定例会」を開会いたします。

### 10 前回会議録の承認

教育長 前回定例会の会議録を行います。あらかじめ事務局から各委員に配布しておりますので、朗読は省略ということよろしいでしょうか。

(異議なし)

教育長 それでは朗読を省略いたしまして、ご意見があれば受け承りたいと思います。ご意見等あればお願いします。

鹿野委員 私が発言した横断歩道の黄色い旗のところ「他の地区ではそういう状態のものはないのでしょうか。」とありましたが、「他のところではないのですか。」という意味で言ったつもりなので訂正方よろしく願いいたします。

木村係長 「同じようなところはありませんか。」という内容で訂正いたします。

教育長 その他ございません。(異議なし)

教育長 それでは前回の会議録を承認とさせていただきます。

### 11 会議録署名委員の指名

教育長 本日の会議録署名委員の指名を行います。

本日の署名委員は、松岡委員と福田委員をお願いいたします。

## 12 教育行政報告

教育長 次に教育行政報告を行います。

教育部長から報告をいたします。

教育部長 それでは、資料教育行政報告一覧表をご覧くださいと思います。

(資料教育行政報告一覧表に従い説明) 以上報告とさせていただきます。

教育長 ただ今の教育行政報告について何かご質問等ございませんでしょうか。

鹿野委員 8月1日の「こども未来サミット」を、私はYouTubeのURLで参加させていただきました。先生の講話と子どもさんが質問するところまで視聴いたしました。その後子ども達がグループに分かれてお話し合いをしたということですが、未来サミットということで希望の持てるような話や意見などが出たのか、内容についてお知らせ願いたいです。また、サミットの初めには以前からやっている「心あったかイートころ運動」の活動状況をスクリーンに流されていました。今回が「こども未来サミット」の第1回目とすると、このような進め方で行っていくのか、今後についてお話しいただきたいと思います。

教育長 管理監からお話ししてください。

学校教育管理監 はい、私からはじめに2つ目の今後についてですが、昨年度は中学校区毎に「挨拶・清掃・ごみ拾い」と各校の実践発表会を行っていましたが、今年度から市で一斉に行うという形にしました。今後は、この形を少し継続して取り組んでいきたいと考えています。

それから当日の様子ですけれども、最初に各学校のイートころ運動の取り組みについて、映像で紹介をさせていただき、その後に瀧先生を講師とした講話をいただきまして、それから子どもたちが7つのグループに分かれ、更に小学生と中学生が混じっての話し合いを行いました。司会については、中学生がリードを取って本当に見事な進行をしてくれました。また、小学生も物怖じしないでどんどんと自分の意見を発表して、少し時間は短かったのですが内容はとても濃い話し合いになりました。今後、「スマホとかゲームをやめるんだ。」という考え方ではなくて、「より良い付き合い方をしていかなければいけない。」、そのための「ルール作りを学校に戻ってからもう一回したい。」とか、「瀧先生がいろいろな体験をすることが大事だと話されていたので、この地域の良い所、自然等にも触れるような活動を行ってみてはどうか。」など本当にいろいろな意見が出て、私は未来に繋がる、今後未来に希望が持てるような話し合いになったというふうに思いました。今後、それぞれの学校でどんな取り組みをしていくかというのを、児童会や生徒会で話し合って実際に実践をして、それをまた何らかの方法で市にフィードバックしてもらって、そして東松島市としての基本線を1つ、例えば「ゲーム・スマホは、平日はこれ位にしよう。」、「時間の問題などでこんなことを皆で取り組んでいってみよう。」とか「家族で触れ合う時間を増やすような取り組みをやってみよう。」などを今後考えて行ければと思います。

なお、教育委員さんもYouTubeで見ていただいたということですが、今回は約300弱の視聴がありました。会場は感染防止のため人数制限で、子ども達44人に、大人を含めて100人だったものですから、動画配信によって保育所・幼稚園の保護者の方々にも見ていただいたということは、幼少期からのスマホとかの関わり方って大事ですから、そういう意味でもすごく意義のある取り組みになったと思っています。以上です。

鹿野委員 ありがとうございます。そのほかに、何人参加して何人位会場にいたのかなということもお聞きしようかと思っていたのですが、今回就学されていない未就学の保育所なんかも対象にやるということでしたので、その辺どうだったのかなとお聞きしたかったですから、併せて説明ありがとうございます。そして、今回のように動画配信をしてもらおうと今回の私のように、家にいて仕事しながらでも見られるので、ほかに何か良いものがあれば講演だけでなく、有効に使っていただきたいと思います。

教育長 鹿野委員、動画の映り方とか音とかどうでしたか。

鹿野委員 最初始まるまで、しばらく画面が止まっていたので、私のやり方が悪かったのかなと思いましたが、その後はきちんと映っていました。そして、音声もはっきり聞こえました。

以前の瀧先生の講演は、大きいスクリーンを見ながら会場で聞きましたが、今回は自分のスマホで見ていたので、スクリーンをアップしながら要点を確認しながらできて良かったと思っておりました。年なので目が…。そういうふうなことも良かった点と感じました。ただ、子どもたちのグループ活動が見られなかったのは残念だったなと感じていたので、さきほどお聞きしたところです。

教育長 良かったね。高野補佐。

高野補佐 はい。ありがとうございます。

教育長 コロナの感染防止のため会場の制限・人数の制限で、そのマイナスの発想だけでなくYouTube配信をして、幼稚園・保育所も大事と感じているので、そこにも見てもらったのは良かった。マイナスをプラスに変えて、こういう手法でいろんなところでやって無駄にならない。この間は、ケアハウスの子どもに終業式を見せる機会を作りました。子どもは見るのかなと思っていましたが、実際に見ておりました。今回のこのようなオンラインはいろんな所で使い方があって、いろんなところで活用していけたらと思っています。

他にございませんか。それでは教育行政報告について承認とさせていただきます。

### 13 議 事

教育長 今日の議事に入ります。初めに議案第46号「職員の処分について」を議題といたします。人事に関する案件につき、秘密会にいたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。  
(各委員異議なし)

異議はないようなので秘密会といたします。配布した資料は後程回収させていただきます。午後1時29分秘密会といたします。

#### < 秘密会開催 >

教育長 ご意義なしと認め議案第46号「職員の処分について」を原案通り承認とさせていただきます。これを以て午後1時37分秘密会を解きます。関係資料を回収させていただきます。

教育長 議事については以上となります。

次に報告事項として事務局から報告をお願いします。

木村係長 私からは大東文化大学の「希望の樹奨学金」の件についてご説明したいと思います。大東文化大学の表紙があるカラー刷りのものになります。こちらですね2年前から奨学制度がで

きまして大東文化大学との連携により東松島で将来活躍できる人材を支援するため特別奨学生制度を創設していただきました。今年度も同じく募集するというので、資料下に募集学科と試験日が12月13日、合格発表2月18日とのお知らせでございます。こちらは東松島市からの特別奨学生の推薦者となった方が大学の受験ができるという流れになっております。資料の裏面にはこの奨学金制度が開始された理由が表記されております。学部につきましては、カラー刷りで表記されている学科で募集するという内容になります。併せてもう一つ白黒の資料につきましては、被災地学生の支援特別推薦申請ということで、市に申請をあげていただいて推薦会の中で認められた方が受験できるというふうな詳細を記載したのになります。こちらの募集は市報のほか、石巻地域の各高校にこの内容をお知らせして募集をしております。募集期間につきましては令和2年10月16日必着ということになっております。10月中にこの審査会を実施する予定です。こちらには福田委員が委員のメンバーにもなっていていただいております。これまでも審査会に参加して審査していただいております。これまで2年間で各年度1人ずつ推薦して2名が入学されたという経過がございます。今年度も、コロナの関係で学校や家庭、学生も含めてですが悩まれていることもあるだろうと思っておりますので、今年度も数名の応募があるのではないかとこのところでおりました。相談自体は去年も3人位あったのですが、最終的には1名の申請ということでした。こちらに関連してですが、カラー刷りのチラシで東松島市・大東文化大学連携事業フレンドシップ公開講座として「親子で楽しい算数教室」を開催いたします。これも東松島市と大東文化大学の連携事業ということで、例年ですとフレンドシップコンサートを開催しておりますが、今年度はコロナ禍でまだ未定ということでしたが、算数教室として今回はフレンドシップ公開講座のみ9月12日・13日の日程で実施することになっております。併せて奨学生制度の説明会を9月11・12・13日とコミュニティセンターで同時に開催しており、その間で小学生1年生から4年生を対象にした算数教室を行うということです。学校にも周知して募集を募るというふうな状況でございます。ちなみに去年は書道教室ということで開催しまして20名位参加されて書道教室をしております。大東文化大学の卒業生が、令和が発表された時の令和という文字を書かれたということで、当日も書道教室でも話題にされて皆で令和という字を書いてみたりしましたが、今年度は算数教室を行うということです。以上、大東文化大学の奨学金制度についてのご報告をさせていただきました。

教育長 続けてGIGAスクールについて説明をお願いします。

教育総務課長 報告ということになりますけども、いよいよ来月から市議会定例会が始まりまして、今回教育委員会の部分の議案が多くございます。1つは各学校のパソコン情報化整備のための議案が1つとスクールバス購入の議案が1つ。あとご案内のとおりGIGAスクールとして先般予算を承認いただいた分のGIGAスクールの1人1台端末の購入となります。いずれも財産の取得という形での議案の提案になりまして、大きなものでこの3件が9月の議案として提案する予定でございます。以上でございます。

木村係長 GIGAスクールにつきまして、タブレット端末を購入する際にOSの方式がありまして、大きくは一般的に流通しているウィンドウズ版そしてその他クローム、あとアイパットのよようなiOSという3つの仕組みがありますが、その中でどういうものを導入していくのかというところで教育委員会内部でも検討をしております、さきほどの課長から説明があった

ようにタブレット購入での発注の仕様等の中ではクロームという方式を採用するものです。これは宮城県でグーグルのサービスでG Suite というアプリケーションがありまして、こちらの導入が全県で行われるとこともありますので相性としてもクロームの方が機能性も高くなるということもあり、管理面でもウィンドウズとかよりも良いというふうな内容もありました。G Suite というものは、高校・中学校・小学校と全ての児童生徒・先生・学校にアカウントが割り当てられて、皆で授業など共有できたり学校は割り当てられたアカウントで児童生徒の学籍などを管理できるということになります。小学校から中学校へそして高校までそのアカウントを12年間使っていくというふうなシステムでございます。そのような点からも東松島市としてはクロームというふうなOSを採用して教育のICT化に進めていくということで皆様にもご理解をいただければと思います。

教育長 G Suite for Education を宮城県全体で子ども達にアカウントを割り振って、1人1台タブレットを使っていく。だから、タブレットが鉛筆とか消しゴムと同じように1つの文房具的に使っていくという発想だと思います。そうすると、県が一括購入で斡旋しようとしているがiPadだったりすると、その中で本市はクロームで行こうというふうな判断をしたところをもう少し詳しく説明してほしい。

高野補佐 クロームにしようと思った本市の結論ではあったのですが、内容として良いところだけ言わせていただくと、起動時間がパソコンのスイッチを押してから時間が、ウィンドウズ・iOSと比べて1分までかからない点です。ちなみにクロームは8秒で起動します。ウィンドウズ・iOSは1分以上恐らくかかるだろうなというところの起動の速さ。子ども達は中々我慢できない所もあって、押せばすぐ起動しそこでログインするためのアカウントを自分で入力して、すぐ自分の画面に入るといようなスムーズさも良いかなというところでした。それから木村係長が話していた低コストの端末であるというところで、ウィンドウズとかiOSもそうなのですが、ウイルスソフトを必ず付属して、費用をかけて更新してウイルスから守る対策があるのですが、クロームですと皆様も携帯持っていると思いますが、アンドロイドがグーグルのOSなものですから、もしもウイルスに感染するホームページにアクセスしたとしても、サンドボックスというグーグルで作っている特殊なものがあるって、そのページだけ感染して他には波及しないようになっており、そのページだけ消してしまえばウイルスはどこにも拡散しないということも良い点で、ウイルスソフト導入しなくとも良くランニングコストを随分抑えられるというところでした。

そのほかは、クロームブックの特徴みたいですが耐久性が良いみたいで、米国調達基準というのがあり、コンクリートの上で種類によって若干違いますが7、80cmの上からコンクリートにポンと落としても壊れないと。もしかしたら、もっと高い所から落としても大丈夫かなというところ、合板だと1m以上から落としても大丈夫だという落下テストを何回かされているところでした。小さい子どもほど落とすのかなというところで、iPadだとカバーはあるものの、結構軽いので落とすとバリッといきそうなこと考慮して頑丈なほど良いのかなと思いました。また、良い点としては2つあって、OSのアップデートがウィンドウズだと大型のアップデートがあった場合、1日中アップデートに時間がかかってしましますが、クロームのアンドロイドOSだとバックグラウンドで常時OS更新を逐一していて、子ども達に全く影響がないです。四六時中使っていただいても使えないという時間がありません。

iOS も iPhone を持っている方であれば、アップデートしている時は使えないと思いますが、グーグルにあっては一切なくて、更新しなくともパソコンが使えるという形になります。

それから web 上で一元管理できるというがあり、全部ではありませんが管理者となっている県が大元になっていますが、東松島市の教育委員会で学校の子供たちが使う端末を一定程度の制御ができたりしますので、パソコン1台で1台ではなくて、web 上で一元管理をすることもすごく魅力的なところでした。あと最後にこれは G Suite for Education を使うと、iOS でもウインドウズでも使えるものですが、共同編集作業が行えます。特にウインドウズのパワーポイントと似たような機能で、エクセル・ワードと似たもので互換性もあるものです。それを使うと1つのシートに課題として、パワーポイントで発表を資料作ってくださいという作業を、1グループに6人いたら6人が同じ画面でみんな同時に作業が行えます。1つの画面上に他の人の入力も同時に見えて不思議だったのですが、皆の意見を出しながら会話しながら編集したり、誰が書いたのかもわかったりするものでした。1人1台の端末を持って共同作業の活用でより良いものを作る、発表する資料を作る機能もございました。良い所だけしか話していませんがこのようなことからクロームブックを選定したところでした。長くなりました。

教育長 　　少し重いのかな。

高野補佐　　そうですね、小・中学校の情報化の先生方にも来ていただいた時に実物を使っていたいたり、持っていたいたりしたのですが、小学校の先生方は低学年の児童では若干重いかな1.4kg位なので持てないことはないと思いますが、若干持つのに郊外学習に行くと写真撮るとなると重いかなというところでした。今回初めてなので GIGA スクールの1人1台端末を今後5年どんなに長くとも5年以内で恐らく端末更新をしていかなければいけないということで、今後検証しながら低学年は軽い iPad が良いとなればそれはそれで取り換えていくということも考えながら、直ぐにはありませんが可能かなと思います。引き続きこの辺は来年から活用の状況を見ながら検証していきたいと思います。

教育長　　市内の情報化の教員にも使ってもらい、いろいろ意見を聞きながらそういった判断をしたということですね。

高野補佐　　はい。

教育長　　教育総務課はそれでよろしいですか。

教育総務　　はい。

教育長　　生涯学習課はありますか。

生涯学習課長　　生涯学習関連では事業関係で3つ。まずはオリンピックの関係でホストタウン事業でありました中学生のデンマーク交流ですが、12人参加していただいて彼女彼らが中学校1年の時に受け入れは終わって、いよいよデンマーク訪問という2年生、今年の3月ですね。それがコロナウイルス感性拡大、渡航禁止が出まして夏休みということで設定をしたんですが、この状況でまず旅行するということ自体が厳しい。それでは国内の感染の少ない所でデンマーク関連としてということで模索していましたが、やはり十分な感染対策となるとどうしても県境を跨ぐ行為は中々難しいということで、オンラインでのデンマークの学生とのオンライン対談であるとか、オリジナルTシャツの交換等に向けた話し合いを進めていこうとしております。それが1点と、これも姉妹都市交流ということで恒例になって

おります更別村との友好都市交流でございますが、これも8月上旬に予定されておりましたが、北海道の感染状況等々もございます。これも3月春休み中にできないかというところで延期はしておりましたが、3月実施としても今頃からも準備を始めなければいけないこの状況では、募集してもちょっと難しいだろうということ。3月に確実に行けるという保証がないこともありまして、今週の金曜日に実行委員会は開かれますが、来年の事業に繰り延べという方向性が大きくなっております。

それと3つ目は、ふるさと教室でございます。小学校4年生を対象としたふるさと教室を秋から冬にかけて行っていますが、海苔すき体験・牡蠣剥き体験があるのですが、生牡蠣・生海苔を手で扱って行うものですし、例年ですとバスに定員一杯になって自然の家に行き活動しますので、勿論屋外ではありますがテーブルで密になる。それから生牡蠣・生海苔のグループ単位でやるので、ワイワイと会話をしながらやるということもございまして、こちらもあり方やその方法を実施講師とか担任の教員の意見を踏まえながら実施の可否について検討してまいりたいということでもあります。

それから最後になりますが、奥松島運動公園でございます。10月1日の開園ということを目指しておりましたが、10月1日から通常通り貸し出しできるのは、テニスコート・多目的・野球場・マレットゴルフ場の4つ。体育館については、もう少し1週間か10日程度遅れる可能性があります。それでも一部工事を残しながらになりますが、貸し出しには問題ない程度の工事が残るということもございました。10月1日を目指して開園したいというふうに考えております。指定管理に関しては、前回もご報告しましたが株式会社のアークリンクということで、指定管理自体は9月1日から始まります。1か月間の準備期間を経て10月の予定でしたが、まだ施設が完全にできていないということで、引き継ぎを今後も進めながらになります。以上報告とさせていただきます。

教育長 生涯学習課から報告してもらいました。デンマークについては、時期をずらしてとか東京大使館とか模索して粘っていましたが、この状況の中では難しいだろうと思います。オンラインでの企画を考えたいと思います。知恵を出して良い企画にしたいと思いますがよろしいでしょうか。

それでは何か教育委員の皆様からご提案・ご報告等ご発言があればお願いします。

(特になし)

それでは、本日予定されておりました議事及び報告は以上となります。次回定例会は9月24日木曜日10時から1階101会議室で予定しております。

以上を持ちまして令和2年東松島市教育委員会第8回定例会を終了いたします。

14 閉 会 午後2時11分

15 議 事

- (1) 議案第46号 議案第46号 職員の処分について
- (2) 報告事項
  - ① 教育総務課関係
  - ② 生涯学習課関係

16 この会議録の作成者は次のとおりである。

教育総務課教育総務係長 木村 薫

上記、記録の正確なることを認め、ここに署名する。

令和2年9月24日

会議録署名委員

会議録署名委員